

補強盛土一体桥梁 (GRS一体桥梁)

コンクリート構造研究室

- ◆ 支承部の省略とラーメン構造化により、建設や維持管理コストを削減します。
- ◆ 盛土を補強盛土とすることにより、盛土の沈下を防止します。
- ◆ 補強盛土とコンクリートく体が一体となることにより、耐震性が向上します。

□ 概要 本桥梁は、面状補強材とセメント改良からなる補強盛土と直接基礎形式のコンクリートラーメン桥梁を、面状補強材を介して連結して、桁・支承部・橋台壁・盛土を一体化した形式です。スパンに応じてRC、SRC、PCから桁構造を選択できます (図1、図2)。

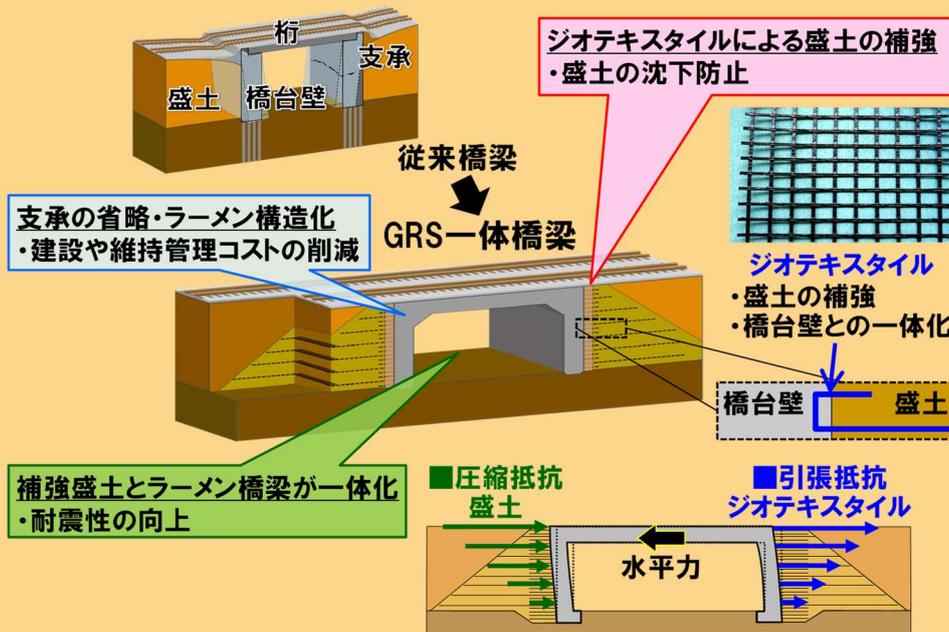


図1 補強盛土一体桥梁の概要



図2 適用事例

※本工法は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構と共同で開発したものです。

※国土交通省の鉄道技術開発費補助金を受けて実施しました。

(特許第6333207号、6536895号)

※ 問合せ先:コンクリート構造研究室 TEL:042-573-7281 FAX:042-573-7282